

「高校生の進路選択に関する調査～進学センサス2019～」 調査結果に対するリクルート進学総研所長の見解

リクルートでは、1970年「リクルート進学ブック」創刊以来半世紀にわたり、高校生の進路選択を支援して参りました。リクルート進学総研では、高校生の進路選択行動を科学する「高校生の進路選択に関する調査（進学センサス）」を実施しております。現代の高校生はどのような進路選択をしているのか、

1)「オープンキャンパス」編、2)「アドミッション・ポリシー」編を発表いたします。今回の調査結果から見えるポイントは以下の通りです。

<POINT>

1) 9割以上がオープンキャンパスに参加。参加時期は早期化しており、3年生ではなく、2年生での参加率が最も高く72%。早期の参加により、受験に向かうモチベーションを高めるとともに、大学を見る視点を育成し、入学前後のミスマッチを防ごうとする高校側のねらいもあるのではないかと

オープンキャンパスは今や9割以上の高校生が参加しており、進路選択行動において学校を見に行くことは当たり前前の時代となっている。今回の調査では、2年生の参加率が最も高く、一人当たりの参加校数は4校、役立ち度は96%と有益な学校選択の場となっていることがわかった。オープンキャンパスの評価（よかったところ）をみると、①キャンパスに関する項目（施設・設備を見られた/実習室・教室を見られた/キャンパスツアー）、②入試に関する項目、③資格・費用に関する項目（取れる資格・支援体制説明/奨学金説明）が2回連続増加しており、高校生からの評価が高まっている（図1）。現在では、学校の宿題として参加を推奨している高校も多い。

2) 2017年より大学に策定が義務付けられた『アドミッション・ポリシー』について、8割以上の高校生が認知している。高校教員^(※1)も9割以上が認知し、過半数が進路指導で活用している。高校生にとって分かりやすいアドミッション・ポリシーの策定、メッセージ発信が大学に求められる

『アドミッション・ポリシー』の策定は、2017年4月1日に法律で義務付けられた新しい項目である。一般にはまだ馴染みがないが、高校生の85%、高校教員は91%が認知していることがわかり、また「個別大学について調べたことがある」と回答した高校生は半数を超えた。高校教員に活用度を聞いたところ、57%が「進路指導で活用」していることがわかった。（図2、3）このことから、志望校を検討するにあたり先生から『アドミッション・ポリシー』について調べるよう進路指導を受けている影響もあり、認知・活用が高まっていると考えられる。しかし、実際、大学のアドミッション・ポリシーを見ると、まだまだ分かりづらい表現になっているケースも多いように思える。高校生にわかりやすい『アドミッション・ポリシー』の策定、メッセージ発信が今後、重要になってくるのではないだろうか。

(※1)「高校教育改革に関する調査2018」より

リクルート進学総研 所長 小林 浩（こばやし ひろし）

<プロフィール>

1988年（株）リクルート入社。早稲田大学法学部卒。グループ統括担当や『ケイコとマナブ』商品企画マネジャー、大学ソリューション営業、社団法人経済同友会出向（教育問題担当）、会長秘書、大学ソリューション推進室長などを経て、2007年4月より現職。文部科学省中央教育審議会委員等を歴任。

現、リクルート進学総研所長 兼、『リクルートカレッジマネジメント』編集長



リクルート進学総研 URL：<http://souken.shingakunet.com/>

高校生、進路選択に関する調査研究機関として、以下の活動を行っています。

- ・全国の大学、短期大学、専修学校など、高等教育機関の経営層向けの専門誌『カレッジマネジメント』の発行
- ・高校の先生を読者対象とする進路指導、キャリア教育の専門誌『キャリアガイダンス』シリーズの発行
- ・高等教育機関、高校生、進路選択に関する各種調査の実施や社外に向けての情報発信

取材にお応えできます

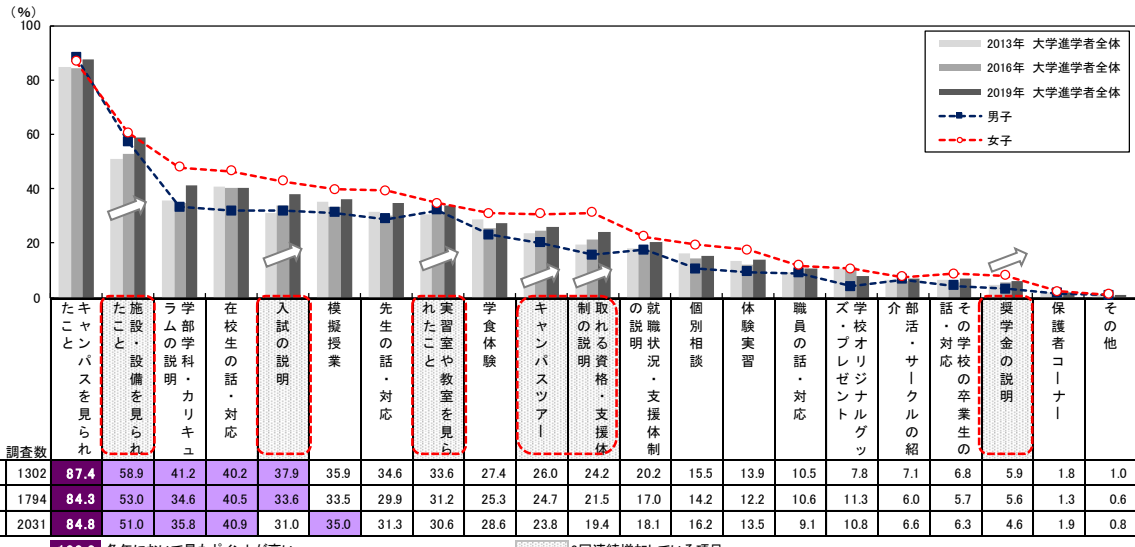
- ・大学をめぐる政策動向全般について
- ・高校生の進路や将来についての価値観
- ・大学のブランド力
- ・高校生、保護者、高等教育機関についての各種データ
- ・マーケット動向や事例など、高校生～大学経営まで教育に関わる内容について幅広くお答えします。

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ 広報担当
https://www.recruit-mp.co.jp/support/press_inquiry/

図1

■進学先校 主催イベントのよかったところ(大学進学者のうち進学先イベント参加者/複数回答)



100.0 各年において最もポイントが高い
 100.0 各年において2~5番目にポイントが高い
 2回連続増加している項目

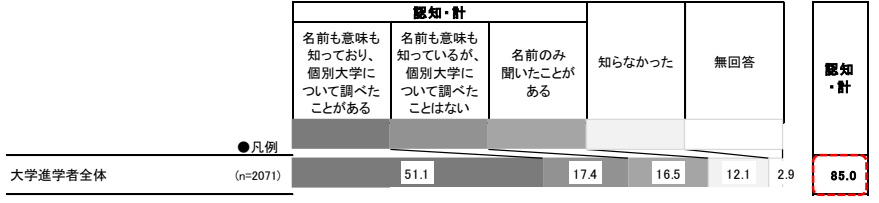
【2019年属性別】

男女別	男子	570	88.2	57.2	33.2	31.9	31.8	31.1	28.8	32.1	23.0	20.0	15.6	17.4	10.5	9.3	8.8	4.0	6.5	4.2	3.2	1.6	0.9	0.2
	女子	727	86.8	60.5	47.7	46.5	42.8	39.8	39.2	34.7	30.8	30.7	31.1	22.4	19.4	17.5	11.8	10.6	7.6	8.7	8.1	2.1	1.1	0.6
入試	一般、センター・計	558	88.4	58.4	35.8	37.5	31.0	28.9	24.9	30.8	22.4	22.4	16.8	16.7	9.9	8.1	7.9	5.2	3.9	5.2	3.9	2.0	1.1	0.4
方法別	AO、推薦入試・計	688	86.8	60.0	45.1	43.0	43.5	41.0	41.7	37.1	31.8	28.8	29.9	23.1	20.2	19.0	12.8	9.9	9.7	7.7	7.4	1.7	1.0	0.4

100.0 「2019年 大学進学者全体」より5ポイント以上高い ※「2019年 大学進学者全体」の降順ソート
 100.0 「2019年 大学進学者全体」より5ポイント以上低い

図2

■「アドミッション・ポリシー」の認知度(大学進学者/単一回答)



※参考) 高校教員の「アドミッション・ポリシー」義務化の認知 (全体/単一回答)

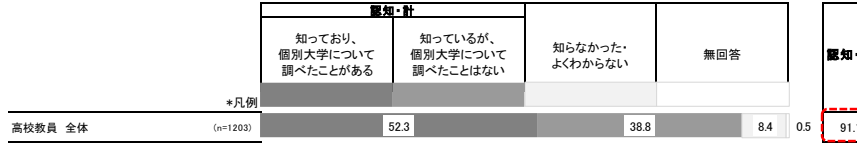
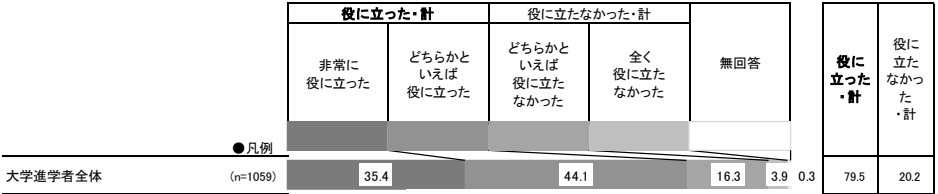


図3

■志望検討時の「アドミッション・ポリシー」役立ち度

(大学進学者のうち「名前も意味も知っており、個別大学について調べたことがある」者/単一回答)



※参考) 高校教員「アドミッション・ポリシー」の進路指導への活用 (「アドミッション・ポリシー」認知者のみ/単一回答)

